

※地盤変動量図・地下水位等高線図は建設局土セン発行「地盤沈下調査報告書」を引用、加筆

地盤

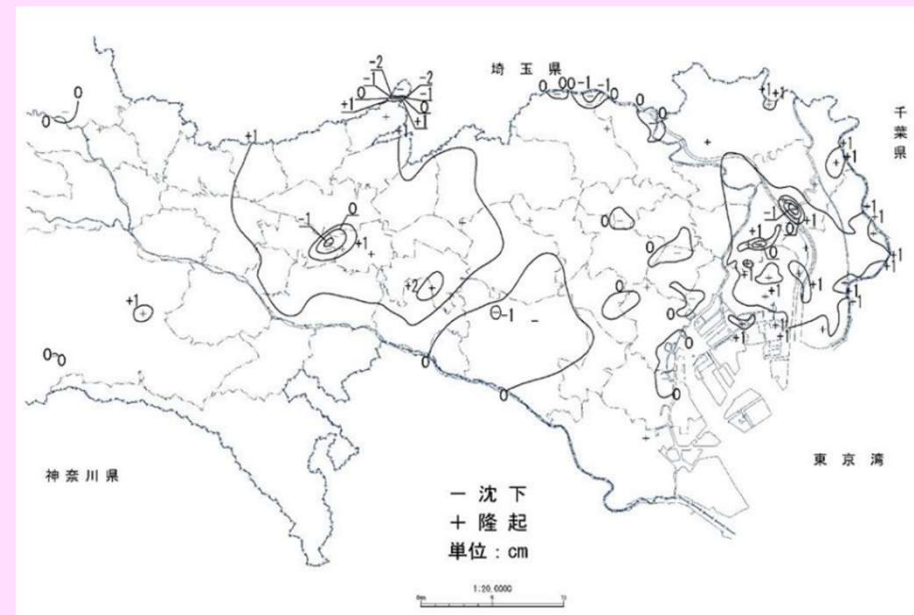
全体として安定した状況。直近5年間の地盤変動量で、2 cm以上沈下した地点は清瀬市内の1地点である。

地下水位

全体として上昇傾向が継続しており、特に多摩東部で地下水位等高線が東へ移動している。低地の水位上昇量は減少傾向。

揚水量

令和4年の都内揚水量は291千 m^3 /日で、直近5年間で89千 m^3 /日減少した。うち79千 m^3 /日が上水道用揚水の減少。昭和46年揚水量の20%となった。



直近5年間の地盤変動量図（平成30年～令和4年）

令和4年末の
地下水位等高線図

小金井

調布

三鷹

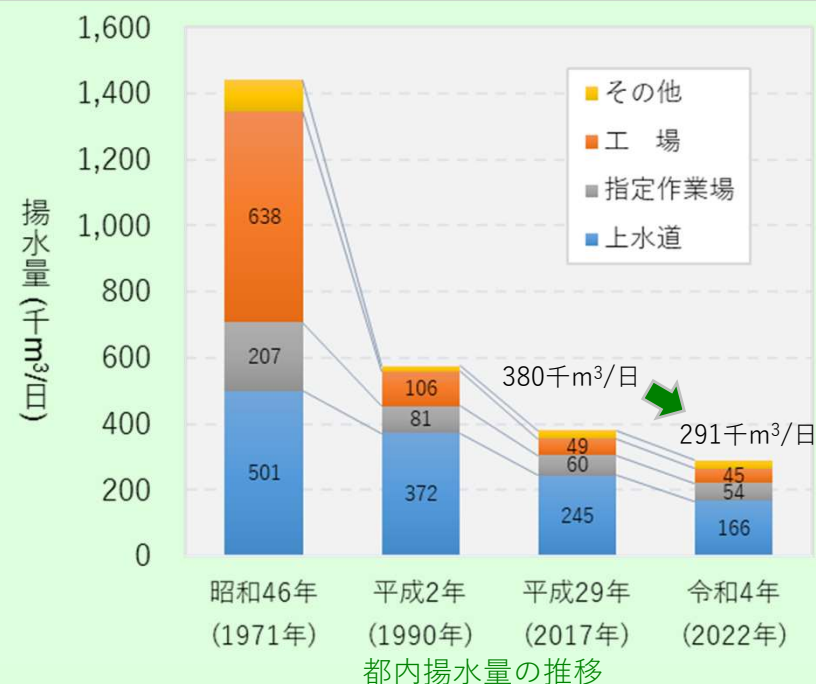


図-5 令和4年末の地下水位等高線図

（比較）
平成29年末の
地下水位等高線図



図-4 平成29年末の地下水位等高線図



観測井における地盤と地下水位の地域別現況（１） 低地

地下水位

➤ 上昇傾向が継続

- ・ 直近5年間の変動量（12月平均水位）は全41観測井で上昇： +0.02m ～ +3.54m
 亀戸第1, 5年間変動量： +1.02m（H29～R3）⇒ +1.01m（H30～R4）

地盤

➤ 直近5年間で2cm以上沈下した地域はなく安定した状況。

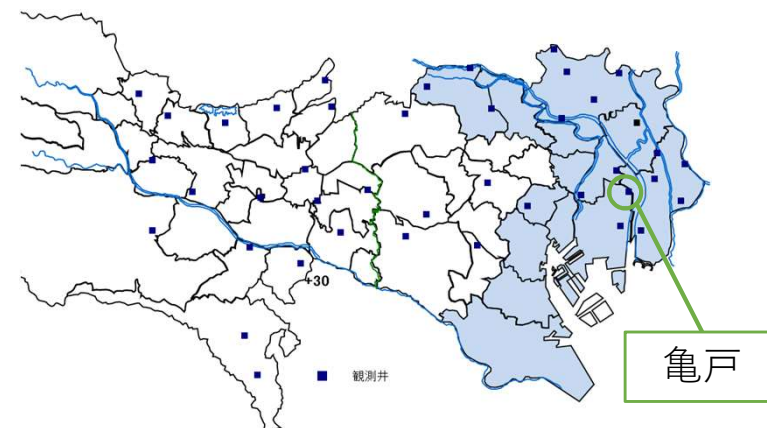
➤ 浅層部（管底以浅）は収縮傾向を示す観測井が多く、深層部（管底以深）は膨張傾向を示す観測井が多い。

・ 直近5年間累積変動量

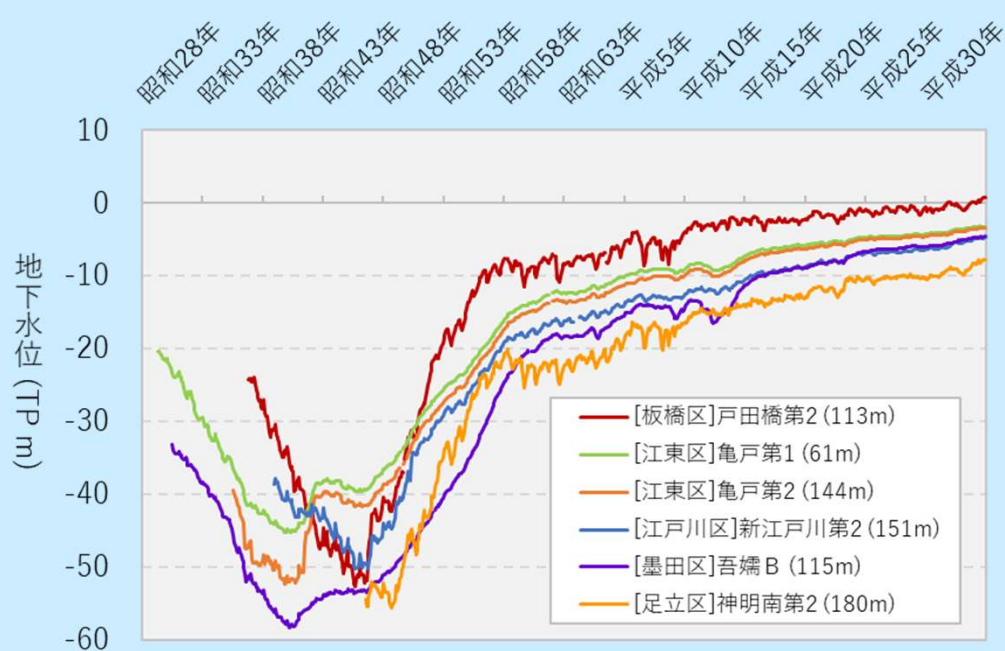
全 体：収縮3本、膨張40本, -1.01cm ～ +1.67cm

浅層部：収縮35本、膨張7本, -1.08cm ～ +0.94cm

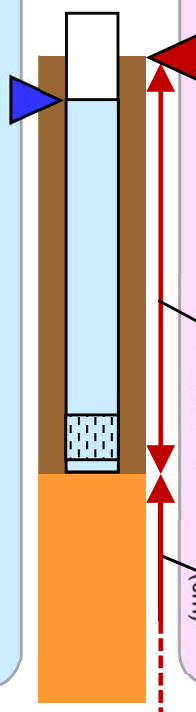
深層部：収縮2本、膨張41本, -0.02cm ～ +1.98cm



■ 主な観測井の地下水位



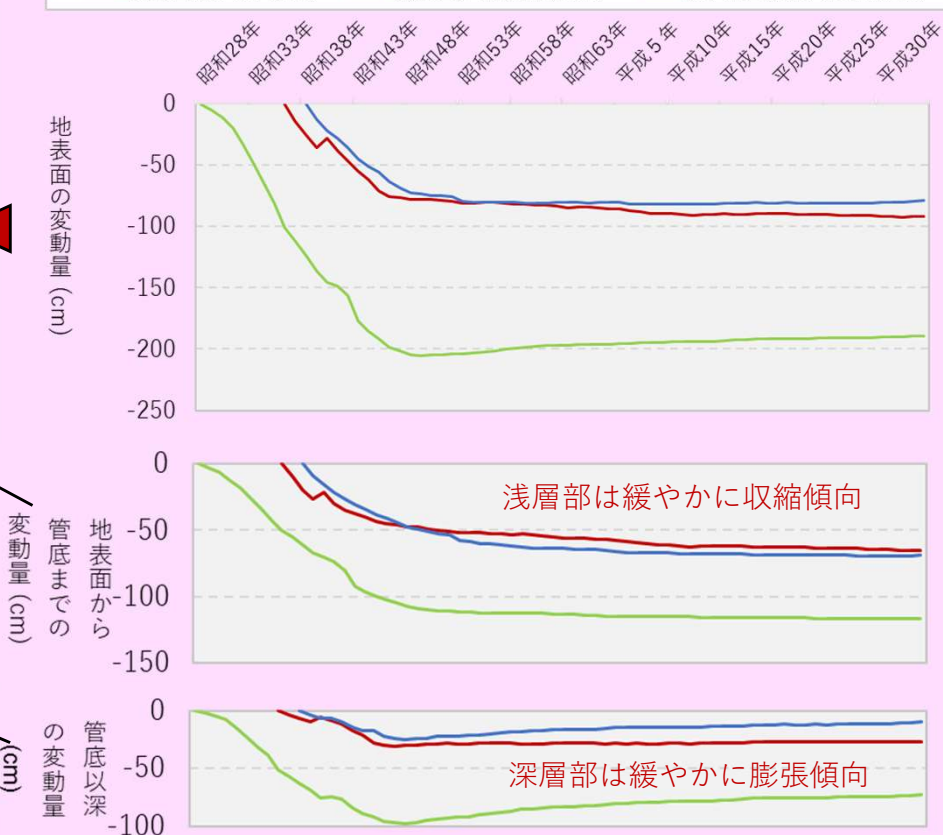
観測井



■ 主な観測井の地層別変動量

※平成23年変動量を除く

— [江東区] 亀戸第1 (61m) — [板橋区] 戸田橋第2 (113m) — [江戸川区] 新江戸川第2 (151m)



観測井における地盤と地下水位の地域別現況（２） 台地（区部）

地下水位

➤ 上昇傾向が継続

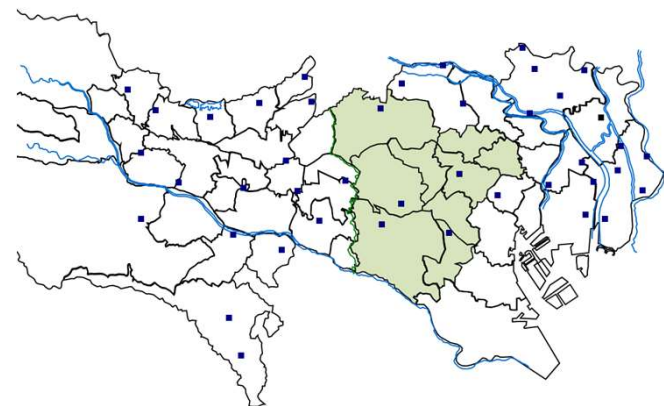
- ・ 直近5年間の変動量（12月平均水位）は全6観測井で上昇：+0.43m ～ +3.19m
練馬第二：+3.19m

地盤

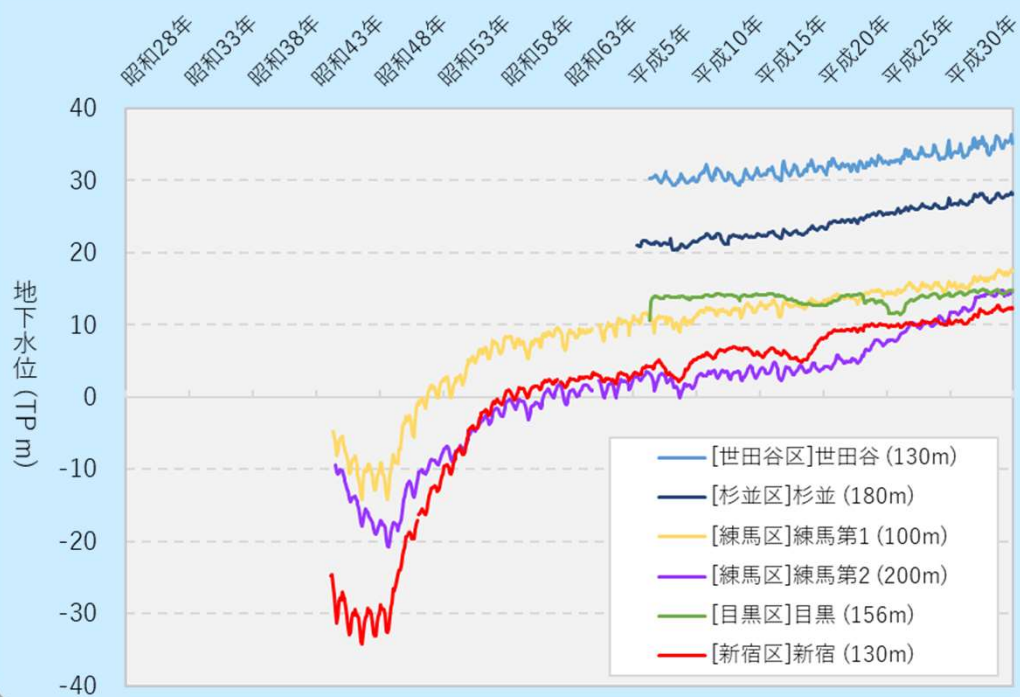
- 直近5年間で1cm以上沈下した地域はなく安定した状況。
- 浅層部（管底以浅）は一部を除きほぼ変動が無く、深層部（管底以深）は膨張傾向を示す観測井が多い。

・ 直近5年間累積変動量

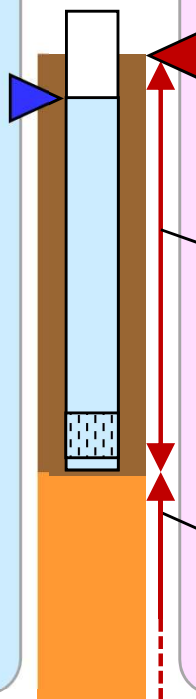
- 全 体：収縮3本、膨張3本、-0.58cm ～ +0.30cm
- 浅層部：収縮4本、膨張1本、-0.61cm ～ +0.01cm
- 深層部：収縮2本、膨張4本、-0.13cm ～ +0.30cm



■ 主な観測井の地下水位

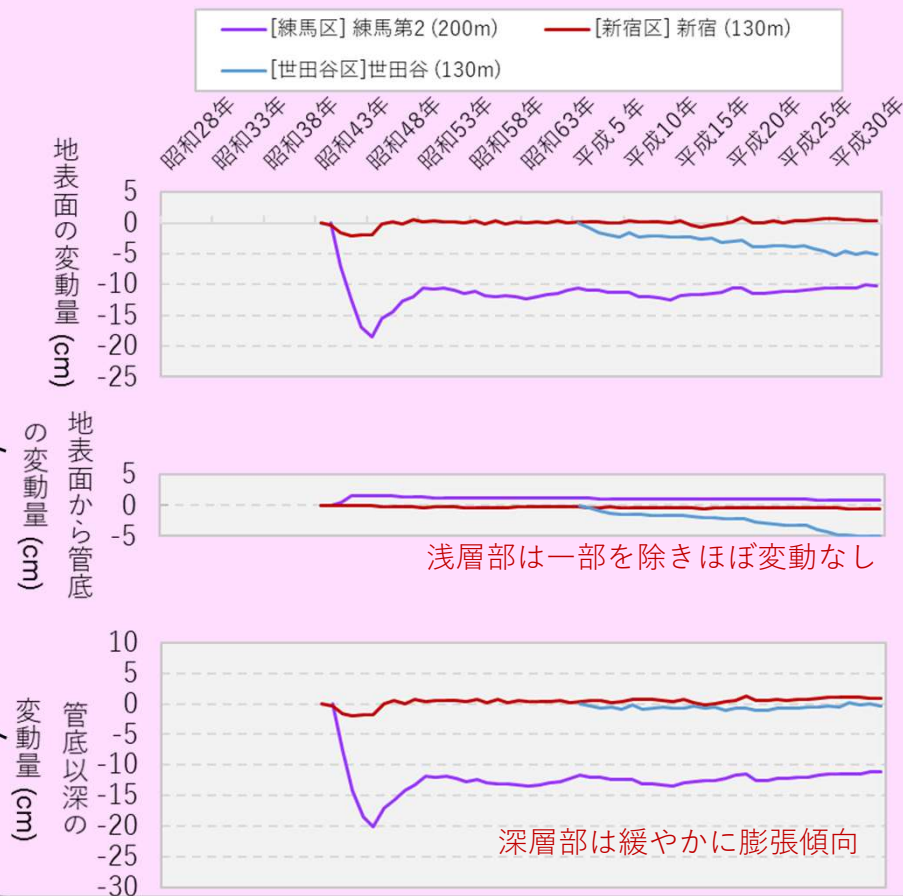


観測井



■ 主な観測井の地層別変動量

※平成23年変動量を除く



浅層部は一部を除きほぼ変動なし

深層部は緩やかに膨張傾向

観測井における地盤と地下水位の地域別現況（3） 台地（多摩）

地下水位

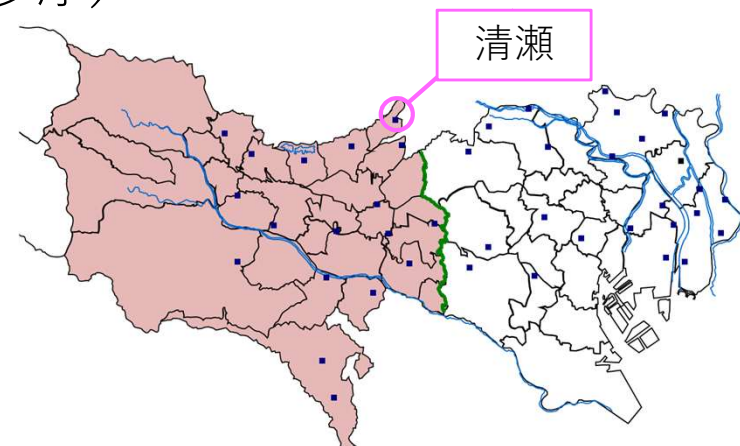
- 上昇傾向が継続。多摩東部の上昇が顕著。
 - ・ 直近5年間の変動量（12月平均水位）は4井を除く38井で上昇：-0.65m ~ +8.86m
 - 府中第3：+8.86m、調布第3：+8.41m

地盤

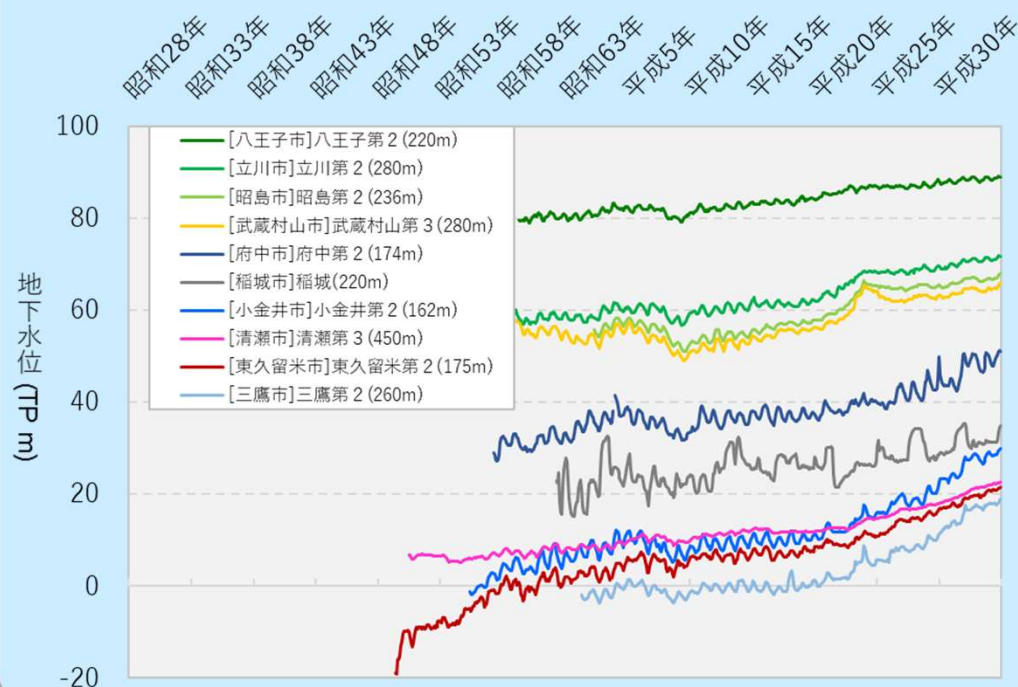
- 直近5年間で2cm以上沈下した地域はなく安定した状況。
- 浅層部（管底以浅）は収縮も膨張傾向も見られ、深層部（管底以深）は膨張傾向を示す観測井が多い。

長期沈下傾向にあった一部地点の沈下は収束。

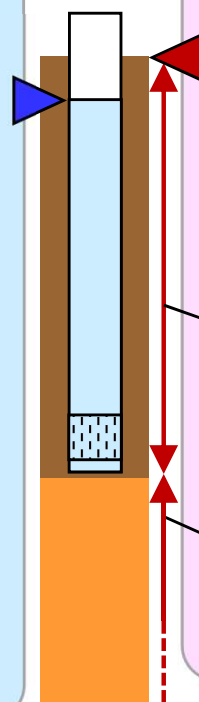
- ・ 直近5年間累積変動量
 - 全体：収縮4本、膨張39本、-1.24cm ~ +1.83cm
 - 浅層部：収縮19本、膨張21本、-1.04cm ~ +1.04cm
 - 深層部：収縮2本、膨張41本、-0.20cm ~ +1.86cm



■ 主な観測井の地下水位

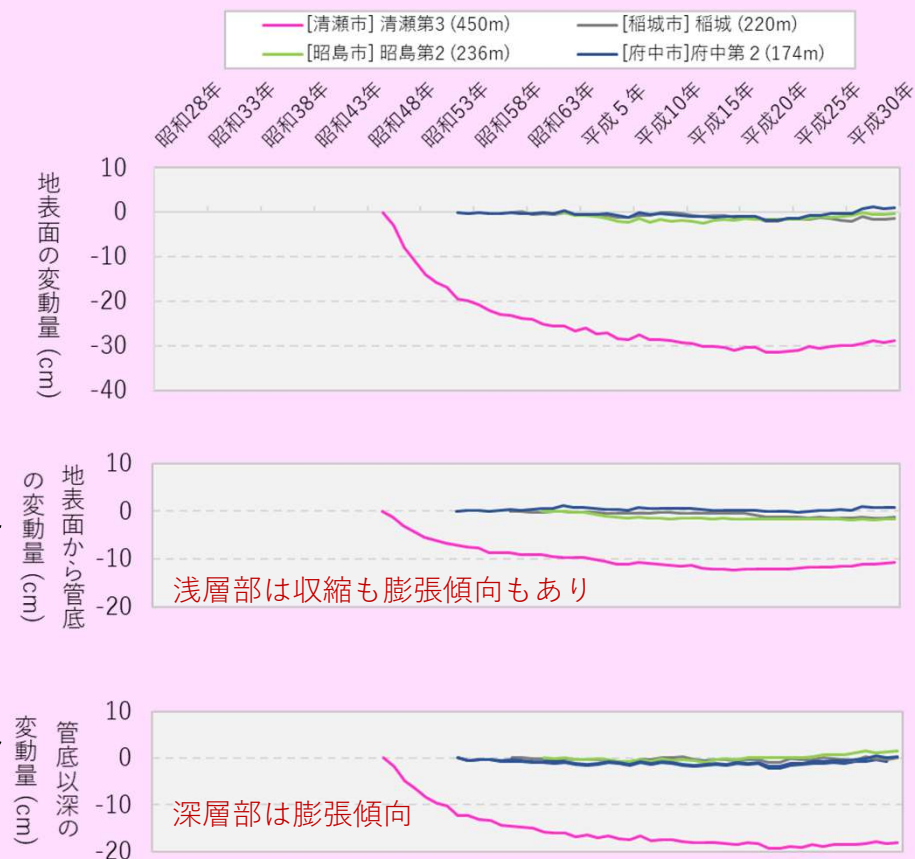


観測井

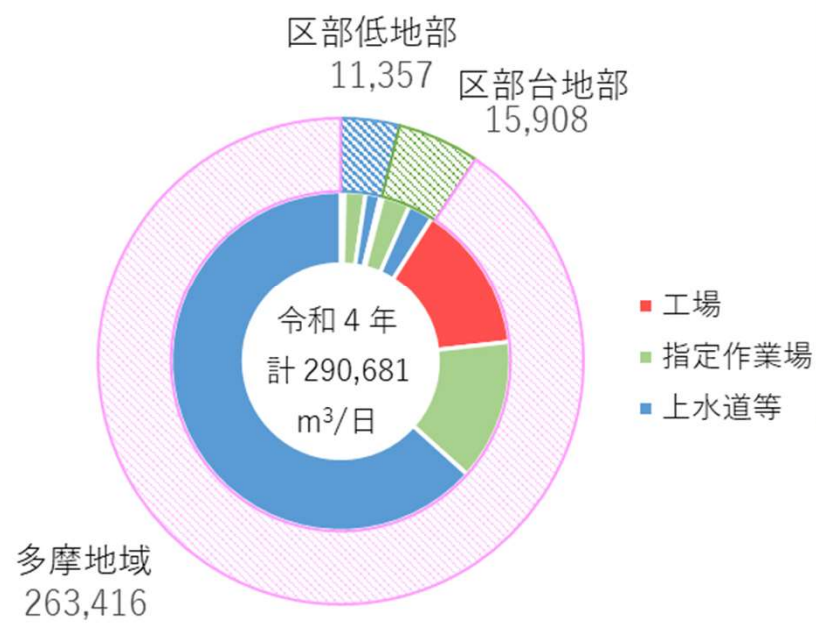


■ 主な観測井の地層別変動量

※平成23年変動量を除く



都内の地下水揚水の傾向



令和4年の地域別揚水量 (m³/日)

令和4年揚水の地域別割合 (%)

	事業所数	井戸本数	揚水量
区部低地部	32.2	28.2	3.9
区部台地部	19.4	16.6	5.5
多摩地域	48.4	55.2	90.6

令和4年の都内地下水揚水の傾向

- 業態別割合 工場：15% 指定作業場：19% 上水道等：66%
- 用途別割合 飲料：62% 製造工程：10% 環境用水：9% ほか
- 地域別割合
 - 事業所数 区部：52% 多摩地域：48%
 - 揚水量 区部：9% 多摩地域：91%

近年この傾向に変化はない。
直近5年間では、多摩東部で上水道用揚水が大きく減少している。

